

第59回三島市美術展 入賞者一覧

平成23年6月19日現在

【日本画の部】

	目録No	氏名	題名	
市長賞	12	諸星 初代	午後のひととき	60号
議長賞	23	和田 としこ	鶏頭の庭	30号
教育長賞	10	山田 淳子	緑雨	30号
実行委員長賞	17	日吉 光雄	真鶴岬より望む(三ッ石)	F10号
舜堂賞	19	望月 雅未	川原ヶ谷秋景・野菜畑の丘	M25号
奨励賞	11	室伏 ゆき江	エメラルドグリーン	F10号
奨励賞	20	北村 康郎	暦	M50号
*奨励賞の順番は、目録順です。				
市民選賞	市民選賞は、開票後に美術展会場内に掲示します。			

〔審査員講評〕

今回の作品を総評すると、大変意欲的な作品が多く、好感が持てた。中には、日本画とか洋画とかのジャンルを超越した作品もあり、時代の新鮮さを感じた。また、一見オーソドックスな作品に見えながら、よく見ると画面を通じて強大なエネルギーを感じさせるものも多く今後の精進が期待される。

審査員 倉田 文昭

今回の展示数は少なく残念だ。内容も梅雨の季節に合わせてか、花が多く正直しめっぽい気がした。その中で市長賞の「午後のひととき」描き方、技術は劣るが元気の出る心を感じる良作だ。また大きな作品だけが良いとは思わないが、やはり大作に挑戦して欲しいと思う。個人的には賞に入らなかったが「グロリオサ」「木曜日」は面白い作品で好きである。

審査員 坂本 武典

大小作品にかかわらず、それぞれが自分らしい個性を生かし挑戦し、一生懸命に描いている事に感銘を受けました。現在、日本画人口が大変減少し、日本画を描ける事が貴重価値のあることに気づいてください。繰り返しますが、描ける事の喜び、幸せを大切にしてください。

審査員 柘植 好子

【洋画の部】

	目録No	氏名	題名	
市長賞	35	清水 和子	明日の風	F100号 油彩
議長賞	22	小野 登志子	ワインパーティー	F50号 油彩
教育長賞	37	西川 ナヲ	隣のミモザ	F50号 油彩
実行委員長賞	9	久保田 重好	本能	F25号 カラーマーカー
舜堂賞	1	安藤 幸子	陽菜子	F50号 油彩
奨励賞	7	岩城 満	展覧会の絵	P100号 油彩
奨励賞	28	真柳 光美	宇宙にアート (バタフライ星雲)	S50号 油彩
奨励賞	33	杉山 美智子	容	96*75cm 水彩
奨励賞	44	大嶽 美智子	若い女	F100号 油彩
奨励賞	58	内田 壯志	夜明けとボトル	F15号 油彩
奨励賞	59	福盛 順子	M5-1 2011	F80号 油彩
			*奨励賞の順番は、目録順です。	
市民選賞	市民選賞は、開票後に美術展会場内に掲示します。			

〔審査員講評〕

1/2世紀を過ぎた今回の市展は、従来のベテラン中堅勢の作品が少なくなったが、出品者が増えて作品が小品化傾向になった。細密な表層美が増えたり、はやりすたりはあり手法も様式も動いている中で、特別秀でた作品には出会えなかった。この点で賞候補の作品が多く選出に苦慮した。60回展に向かって少しでも大きな作品にチャレンジし、自己の殻を打ち破るような作品を期待する。

審査員 小池 タケシ、日吉 薫、湯浅 猛

【彫刻・工芸の部】

	目録No	氏名	題名	
市長賞	6	古川 勝	御本手印花文「しだれ桜」	陶芸
議長賞	28	櫻川 秀紀	舟形彩色花入	陶芸
教育長賞	11	西家 利幸	睡蓮	金属 (銅・真鍮)
実行委員長賞	27	櫻川 秀紀	斑黒天目釉茶碗	陶芸
舜堂賞	3	岡部 光二	水の都	木の象嵌
奨励賞	13	谷澤 寿子	病床のぼら	木彫
奨励賞	15	池田 マサヨ	ふる里絵暦	布アップリケ
			*奨励賞の順番は、目録順です。	
市民選賞	市民選賞は、開票後に美術展会場内に掲示します。			

〔審査員講評〕

今年は作品が少なく、心ときめく作品に出あわなくて、やむをえず賞をつけていく状況にとっても残念な思いでした。工芸は他の分野と異なり、時間が必要とされますが、出来上がった時の満足感はひとしおですので、出来たら少しでも多くの方に関わっていただくと嬉しいです。また来年に期待したいと思います。

審査員 大杉 富枝

審査に困る程、皆同列レベル。審査しにくく困った。皆さんの出品にあたり、努力を願う。市展の盛り上げに広報もよろしくと思う。内容のとぼしさに嘆く、残念。

審査員 杉山 禎瑠子

今年の傾向は、陶芸を中心に、大作や新たな挑戦が見られ、新しいジャンルで彫金や鍛金に見るべきものがあった。色の使い方、素材の生かし方をもう少し工夫するともっと良くなる作品が多く見られた。今後の創作にさらなる意欲をもって取り組まれ、より多くの方の作品を期待します。

審査員 福地 孝行

【写真の部】

	目録No	氏名	題名
市長賞	64	藤澤 孝代	雨あがり
議長賞	75	鈴木 敏	ナイスキャッチ!
教育長賞	16	久保田 義博	雨のち晴れ
実行委員長賞	5	遠藤 啓	帰り道
舜堂賞	28	佐藤 勝次	春楓
奨励賞	11	関根 絹子	髪 結び終える
奨励賞	13	岩崎 美子	酷寒の猿
奨励賞	37	小野 博史	オレンジ色に輝く街
奨励賞	50	石原 新二	落葉とたわむる
奨励賞	63	藤原 英修	一瞬
奨励賞	66	富永 保	朝光に輝やく
奨励賞	68	片桐 邦彦	黎明
奨励賞	73	鈴木 昌子	けあらしの朝
			*奨励賞の順番は、目録順です。
市民選賞		市民選賞は、開票後に美術展会場内に掲示します。	

〔審査員講評〕

6年間美術展に携わり作品を見てきました。一番感じるのは、デジタル写真のレベル向上です。作品の内容は、年配の方が多いためか斬新な物がまだまだ少ないです。カメラと違い頭の改造は大変な事です。世間常識で作品レベルは8割方入選ラインに達しています。私は新しい映像を常々求めているので、自分を主張し、そこから出てくるものを感じさせる作品を市長賞に選びました。

審査員 齋藤 敏夫

ここ数年デジタル写真の仕上げが良くなり、作品のレベルが上がっている。プリントの質が悪いという作品は少なくなっていると思う。今回の出品作品もかなり質の高い作品が多く、その中でいかに自分自身が出ているかという所を重視して審査をしました。今回もモノクロの作品が少なく、すこし残念です。次回モノクロの作品が多くなる事を期待したい。

審査員 堀部 清

作品を拝見して新鮮に感じる写真が多かったように思います。デジタルの普及により撮影が手軽になり、カメラマンの層も広がって、それに伴いレベルも着実に上がっているように感じます。従来の機材や技術の制約から撮影の自由度が増し、感覚が作品の良し悪しを大きく左右するようになって、芸術の手法としての写真がますます面白くなってきています。

審査員 村上 益男

【書道の部】

	目録No	氏名	題名
市長賞	48	鈴木 翠香	玉臺観
議長賞	10	三浦 文子	み山べの
教育長賞	3	関根 絹子	石庭
実行委員長賞	46	蓬生 翠風	五言絶句
舜堂賞	9	笹津 治子	雲従龍
奨励賞	7	佐々木 朋子	高砂の
奨励賞	14	守屋 里英	杜甫詩
奨励賞	18	小坂 翠江	七言二句
奨励賞	27	川口 正子	春の雪
奨励賞	40	土屋 玉楓	手毬
		* 奨励賞の順番は、目録順です。	
市民選賞	市民選賞は、開票後に美術展会場内に掲示します。		

〔審査員講評〕

審査にあたって感じたことは、古典、師の書風を学ぶことから始めるのが常ですが、その中から自分を主張する作品を創り出すことは、中々難しいことだと思います。入賞した作品は、自分の呼吸で書いている中にも見る者に語りかけてくる要素（墨色、潤湯、行間、余白等）があった。今後、創作する時の参考になれば幸いです。

審査員 増田 文杏

作品数は、ある程度定着してきていると思います。一点一点が長い期間をかけて、研究と努力を重ねて来られたことが感じられます。漢字の場合、小字数、多字数、書体の違いもあり、かな、調和体等多種にわたり、書風も色々あるので、優劣つけ難く、審査は困難を極めました。ますます精進されることを期待しております。

審査員 山田 翠岑

漢字・仮名・調和体・大字数と各ジャンルにわたって作品が見られました。各部門、レベルはある程度高いと感じました。市展という場を借りて、各自の作品を発表し、楽しみながら自己研鑽されることが何より一番大切と思われます。他部門である前衛や刻字なども見られるようになれば、一層全体レベルも上がり、見ごたえもあると思います。

審査員 米津 菊川